

第19回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成31年3月28日(木) 10:00～11:30

場所：広陵町役場3階大会議室

参加者：会長（山村委員）、副会長（乾委員、代理：久保）、中井委員、松尾委員（代理：本田）、西村委員（代理：川村）、露永委員（代理：橘）、島中委員（代理：水瀬）、金口委員、井上委員（代理：丸山）、米田委員、藤井委員、古田委員、吉田委員（委員13名）、事務局4名、コンサルタント1名

議事概要

1 開会

本日、17名のうち13名の参加を確認しており、会議は成立しています。

2 会長挨拶

広陵町の広陵元気号は、平成28年から本格運行を始めており、利用促進により成果がでていますが、収支の状況は十分な収入を得られていません。元気号を頼りにされている方も多いので、運行をやり続けたいといけません。運行便数、ルートが近くにきてほしい、自宅までデマンドなどの声がありますが、全ての声を満足する公共交通はありえないと思っています。効率的な運行がないのかということでアンケート調査、町民ワークショップで議論をいただき、要望にも反映できるようにさせていただいています。見直しの時期にあたっているため、10月以降の再編案を提案させていただきたい。

予算を含めまして議題にしておりますので、広陵元気号がより充実したものになるよう、ご協力をお願い申し上げます。

3 議題

(1) 平成31年（2019年）10月以降の広陵元気号再編案について

事務局：資料説明

会長：ご質問、ご意見を頂戴したいと思います。

委員：無料券の配布のところで、老人クラブなどで無料券を配布するとありますが、老人クラブに入っている人だけですか。

事務局：あくまでワークショップでの意見であり、各種団体等を考えています。

事務局：新しいダイヤに変わったときに、広報に無料券をつけて、乗ってもらうことを考えています。

会長：無料券は、1回だけですか。

事務局：往復分を考えています。

委員：免許返納で回数券を配布していますが、その利用率はどんなものですか。

事務局：環境・安全安心課で担当しています。ICカードと広陵元気号の回数券のどちらかを選べます。イコカの交換が多いと聞いていますが、お調べをして答えさせていただきます。

- 会長 : イコカカードのほうが多いです。イコカカードでも元気号を使えるので、便利なほうを選べます。
- 委員 : タクシーをグループで利用している地域があります。広陵町ではすべての人の利用に対応することは不可能なので、タクシーを利用した取り組みを考えているかどうかお聞きしたい。
- 事務局 : 元気号ですべての人に乘ってもらうのは難しい。デマンドですべての家の前までいくのも難しい。福祉有償で移送サービスのものですが、福祉部局と協議をして、非営利の法人が実施主体となりますが、福祉的な輸送サービスができないかということを検討しています。はっきりとしてきましたら、ご紹介し、議論していただければと思っています。
- 会長 : 香芝市で路線とデマンドの両方をやっていますが、相当費用がかかります。特定の人を対象にした福祉有償運送を検討中です。
- 委員 : 心配なのは、斉音寺というバス停を通らなくなりますが、利用者もまあまあ多いので、なくなるところについては、利用者に了解をいただいたほうが良い。
- 事務局 : 廃止となるバス停については、地域に十分な説明をしたい。斉音寺については、近くに笠や中央公民館が近くにありますので、そちらの利用をお願いしたいと思っています。また、奈良交通と重複している疋相等については、近接のバス停もありますし、奈良交通のバスを利用していただくようお願いしたい。
- 委員 : 事前に資料提供されたアンケート集計の結果をみると、単純集計だけになっていて、クロス集計がされていないと思った。今回の調査では、今、利用されていない方が、今後、このコミュニティバスをどう利用していただくかについて検討していくにあたり、潜在需要をどう顕在化させていくのかということが見えてこない。
ワークショップで再編案をだされているが、参加者の属性はどういう人か。
- 事務局 : 属性は、住民アンケートで広陵元気号を利用されていない方が大半。参加者13名のうち、元気号を利用している人は1割程度です。
- 委員 : それを聞いて安心しました。利用されていない方の意向を反映していくということで、その部分は、せっかくアンケートをやったので、その結果を掘り下げてデータの裏付けがほしかったな、ということです。
大和高田駅まで200円にされるのは、奈良交通の運賃との調和ということが根拠ということですが、大和高田駅で乗降されたときのみですよ。
- 事務局 : 大和高田駅利用のみ200円です。アンケートでも200円を容認する意見があったので、そのように考えています。
- 委員 : 協議するプロセスとしては、路線バスとの調和ということで、協議会でまとめればよい。町外への利用ということで、対外的に説明できるとしています。クロス集計の中で、高田駅を利用している方の運賃の意見があれば、なおよいのですが。
- 事務局 : クロス集計までは至っていない。
- 委員 : 値上げはインパクトのあることなので、値上げしても利用者数が確保されるということのデータの裏付けがあったほうが良いので、このアンケートを掘り下げていただきたい。

会長 : イズミヤから高田でも200円ですね。距離からいうと相当のアップになるので、抵抗があるかもしれません。

委員 : ワークショップについては、参加させていただいたので、何もありません。手続き的なスケジュールをお聞きしたい。

事務局 : 今回承認されれば、4月から運行事業者選定、運行ダイヤを確定していきたい。5月中旬ごろに活性化協議会を開いて審議をいただき、6月に国への申請。7月から利用環境の整備や住民への周知を行っていきたい。

事務局 : 平成30年度の運転免許証返納については44件です。そのうち、イコカが37人。広陵元気号が7人です。

委員 : 運行を利用して町民に回遊してもらって、地域が元気になってもらいたい。いろいろな角度で取り組んでいただいているので、延長して議論を重ねていただきたい。

会長 : 再編案について承認という手続きをさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。
(意義なし)
承認とさせていただきます。

(2) 平成31年度(2019年度) 予算(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : 質問、ご意見、ございませんか。

委員 : 手続き上は問題ないと思いますが、収入の部の補助金ですが、現時点では、広陵町の採択可否が決まっています。仮に採択されなかった場合、公共交通調査事業は、どうされるのか。別の方法になりますか。

事務局 : 採択の可否に関わらず、実施したいと考えています。

委員 : 補助金が当たらない場合は、補正予算を組まれるということによろしいですか。

事務局 : 町からの補助金をいただきます。この事業については、財政との協議を踏まえた上で、実施していきたいと考えています。

会長 : 承認で意義なしでよろしいか。
(意義なし)
承認とさせていただきます。

(3) 平成31年度(2019年度) 事業計画(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : 質問、ご意見、ございませんか。

委員 : 資料4で、運行事業者の選定方法、事業者の要件は決まったものがありますか。

事務局 : 事業者選定方式は、プロポーザル方式で考えています。要件については、現在検討中です。

委員 : 事業計画案は、代表的には、町の行政部局で実施する内容と考えてよいですか。

事務局 : そのとおりです。

委員 : 了解です。

会長 : 承認することにご異議ございませんか。

(意義なし)

承認とさせていただきます。

4 その他

会長 : その他については、ご自由をお願いしたい。

委員 : 広陵元気号の運行は、福祉の観点から大事と認識しています。広陵元気号を利用する方の不満で最も多いのが運行便数です。運行便数の変更は、費用がかかってくるので簡単にはできないと思いますが、不満の解消をどのように考えていますか。

事務局 : 今回の見直しでは、現在の予算の範囲内で、より多くの方に乗っていただくことで再編を検討しました。支線の高田駅への乗り込みについては朝と夕のみにし、他は町内の移動にしました。

会長 : ほかにありませんか。会議を閉じさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

事務局 : 次回の会議は5月の中旬を予定しています。その後、6月の中旬にも予定しています。詳細な日程が決まれば、通知を差し上げます。

会長 : 本日は、お忙しい中ありがとうございます。引き続き、ご協力を賜ります。

(以上)